

○介護に対する思い～私は小さい頃から、おじいさん・おばあさん子でした。以前勤めていた会社を辞めて、次の仕事を探していた頃、JAのすずらんヘルパー研修に誘われました。最初は興味本位でしたが、いざ勉強をしてみると“出来るかもしれない”と思いました。

人のお世話をすることは嫌いではないし、それにお年寄りさんが好きだから、だからきっと、人間が好きで人の悲しみや辛さ等受け入れられたら、人を思いやる気持ちそれが福祉に繋がると思います。

○感動・小さな喜び～利用者さんに「だんだん」と言われた時。(ありきたりですが)やはり介護の仕事をしていると、この一言で嬉しくなります。利用者さんが体調を悪くしてずっと休んでおられ、元気になられた時「良かった」と思うと同時に、又一緒に笑い合えると思うと感動します。

○辛いこと・嫌なこと～私はむしろ、こっちの方が一番多いと思います。ずっと親しくしていた利用者さんの死に出会う事。それが夜勤中だったら、かなりショックを受けます。これで本当に良かったのか・・・しばらくは立ち直れない時もあります。何年経ってもこれだけは慣れる事はないと思います。あと、自分の体調が優れない時に代わり(職員)がきかなかったりした時。夜勤中にナースコール、センサーが鳴りっ放しの時は本当に泣きたくなるし、「もう嫌だ～」と何度本気で思った事か・・・。

○学んだこと～この仕事を始めて15年、色々な事があり、沢山教えられた事があります。

先輩からの言葉今の時代こんな事言ってくれる人はいないだろうなあ・・・。

利用者さんからの言葉毎日色々な事を話していると何気ない会話の中から

“あ～なるほどなあ～“って考えさせられたり、なかには私の性格を知っているかのように、あなたはこうだからもっとうこうの方がいいよ、と90代の利用者さんに言われた言葉。時々仕事が辛くなったら思い出しています。誰も保障はされない明日の命、今この一瞬も、だから日々、一瞬一瞬大切にしなければいけないとこれだけは一番利用者さんから学んだ事だと思います。